

郁達夫杯 第2回蘇州地区日本語中国語スピーチコンテスト 実施要項

- 主催： 中国人民大学国際学院(蘇州研究院) IB 早稲田ラーニングセンター(蘇州高新区良図語言文化培訓中心)
江蘇卓越國際交流教育基金會
- 後援(予定)： 有名日系企業数社 日系媒体 蘇州地元媒体
- 開催目的： 蘇州在住の外国人及び中国人に語学能力を高める機会を設け、人文的な教養を高めてもらうため、また、結果として蘇州市の経済成長や社会発展に寄与していくために、幅広い人々への無償サービスとして開催します。
- 本大会日時： 2011年11月20日(日)午後1時～午後5時
- 本大会会場： 中国人民大学国際学院(蘇州研究院)大ホール
- 実施要項：
 - 参加資格
日本語によるスピーチ：蘇州在住の日本以外の国籍を持つ13歳以上の男女
中国語によるスピーチ：蘇州在住の中国(澳台港地区を含む)以外の国籍を持つ12歳以上の男女
 - 演題内容
日本語によるスピーチは、第1部・第2部のいずれかから選択。中国語によるスピーチは、第2部のみ。
第1部：対話部門(課題テキストを一つ選んで2名で演じる)
第2部：フリースピーチ部門(テーマは「外国人から見た中国」や「日本の印象」など、それぞれの国の文化や歴史、風俗・風習に関するもの。
自作の原稿をもとに、5分以内のスピーチをする。発音や話し方のほか、特に内容を重視)
 - 制限時間
第1部：課題テキストに拠る
第2部：5分以内
 - 予選審査および審査基準
＜予選審査＞
第1部：MP3等の録音スピーチにより6～8組を本大会出場者として、
第2部：スピーチ原稿により5～8名程度を本大会出場者として選びます。
＜審査基準＞
第1部：
*発音、抑揚、流暢さ *声の大きさ、間の取り方 *全体的な印象(熱意、自信、説得力) *演劇性、ペアワーク
第2部：
*構成 *わかりやすさ *文法、文体 *全体的な印象(説得力、独創性) *特に内容を重視
＜予選審査結果＞**11月上旬**
予選審査結果は、~~10月下旬~~までに全員に通知いたします。
 - 予選方法
1)応募期間
2010年9月1日(木)～2010年10月**31日(火)**
2010年10月**1日(土)**必着
2)応募方法
以下の2点を実行委員会宛に郵送もしくは電子メールにて送付。第1部に応募する者で、個人で録音ができない場合は、IB早稲田に来て録音することができる(要予約)。
①所定の応募用紙
②第1部 スピーチを録音したMP3・オーディオ CD・カセットテープ
第2部 スピーチ原稿と母語訳(但し母語訳は審査の対象外)
3)応募要項・課題テキストの請求・応募先・問い合わせ先
IB 早稲田ラーニングセンター「日本語中国語スピーチコンテスト実行委員会」
215-001 蘇州新区濱河路 1388 号創意街 3A-1
TEL:0512-6920-9703(日本語専用ダイヤル) E-mail: contest@ib-waseda.com
4)応募上の注意
＜第1部＞
①スピーチを録音する際、名前を言ってからスピーチを始めてください。
②1つの録音媒体には1組分を録音し、録音されているか、録音状態は良好か必ず確認してください。
③MP3形式のファイルを電子メールで送付する場合、ファイル名を応募者2名の連名にして送付してください。
＜第2部＞
①スピーチ原稿は事前に内容を十分チェックした上でご応募ください。
②予選で提出された原稿を本選で発表していただきます。
③字数制限はありませんが、5分でスピーチできる量にしてください。5分を超えると減点の対象となります。
＜共通＞
電子メールでの応募の場合、応募用紙・MP3ファイル・スピーチ原稿のいずれも、ファイル名に応募者の氏名を入れてください。
 - 表彰
＜奨励賞＞
応募者全員に進呈します。
＜個人賞＞
各部門の第1位から第3位に賞状と副賞を贈呈します。
＜審査員特別賞＞
本大会に出場者の中から、第1～3位受賞者を除き、特に敢闘した1名(1組)に賞状と副賞を授与します。